



Sun Fire™ 4810/4800/3800 システム キャビネット搭載の手引き

サン・マイクロシステムズ株式会社
東京都世田谷区用賀 4丁目 10番 1号
SBSタワー 〒158-8633

Part No. 806-7901-11
Revision A, 2002年2月

Copyright 2002 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle • Santa Clara, CA 95054 USA. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリコーペイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Fire は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Java およびその他の Java を含む商標は、米国 Sun Microsystems 社の商標であり、同社の Java ブランドの技術を使用した製品を指します。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

Netscape、Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。Netscape Communicator については、以下をご覧ください。Copyright 1995 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典：	Sun Fire 4810/4800/3800 Systems Cabinet Mounting Guide Part No: 806-6781-12 Revision A
-----	--



目次

はじめに ix

1. Sun Fire キャビネットへの Sun Fire 4810 システムの設置 1
 - 工具類 1
 - 留め具の取り付け 2
 - Sun Fire 4810 システムの設置 4
 - Sun Fire 4810 システムへの電源ケーブルの接続 7
 - キャビネット正面パネルの取り付け 9
 - キャビネットガードの取り付け 11
 - FrameManager へのシステムコントローラの接続 12
2. Sun Fire キャビネットへの Sun Fire 4800 システムの設置 13
 - 工具類 13
 - レールの取り付け 14
 - バンパーの取り外し 16
 - 側面パネルの取り外し 17
 - キャストの取り外し 18
 - Sun Fire 4800 システムの設置 18
 - Sun Fire 4800 システムへの電源ケーブルの接続 20
 - キャビネット正面パネルの取り付け 22

キャビネットガードの取り付け	24
FrameManager へのシステムコントローラの接続	25
3. Sun Fire キャビネットへの Sun Fire 3800 システムの設置	27
工具類	27
レールの取り付け	28
ケーブルレースウェイの取り付け	30
Sun Fire 3800 システムの設置	32
Sun Fire キャビネットの拡張部品の取り付け	34
Sun Fire 3800 システムへの電源ケーブルの接続	36
キャビネット正面パネルの取り付け	38
キャビネットガードの取り付け	40
FrameManager へのシステムコントローラの接続	42
A. Regulatory Compliance Statements	43
B. 安全のための注意事項	49

図目次

図 1-1	Sun Fire 4810 システムへのシステム留め具の取り付け	2
図 1-2	キャビネット留め具の文字の付いたホール	3
図 1-3	Sun Fire キャビネットへのキャビネット留め具およびレールの取り付け	4
図 1-4	Sun Fire キャビネットへの Sun Fire 4810 システムの設置	6
図 1-5	Sun Fire 4810 システムが設置されたキャビネットの電源スイッチの位置	8
図 1-6	キャビネット正面パネルの位置	10
図 1-7	キャビネットガードの取り付け	11
図 2-1	Sun Fire キャビネットへのレールの取り付け	15
図 2-2	Sun Fire 4800 システムのバンパーの位置	16
図 2-3	Sun Fire 4800 システムからの側面パネルの取り外し	17
図 2-4	Sun Fire キャビネットへの Sun Fire 4800 システムの取り付け	19
図 2-5	Sun Fire 4800 システムが設置されたキャビネットの電源スイッチの位置	21
図 2-6	キャビネット正面パネルの位置	23
図 2-7	キャビネットガードの取り付け	24
図 3-1	レールホールの識別	29
図 3-2	Sun Fire キャビネットへの固定部品の取り付け	30
図 3-3	ケーブルレースウェイの取り付け	32
図 3-4	Sun Fire キャビネットへの Sun Fire 3800 システムの固定	34
図 3-5	Sun Fire キャビネットの拡張部品の取り付け	36

- 図 3-6 Sun Fire 3800 システムが設置されたキャビネットの電源スイッチの位置 38
- 図 3-7 キャビネット正面パネルの位置 40
- 図 3-8 キャビネットガードの取り付け 41

表目次

表 1-1	Sun Fire 4810 キャビネットガードの位置	11
表 2-1	Sun Fire 4800 キャビネットガードの位置	24
表 3-1	Sun Fire 3800 システムに搭載する順番	28
表 3-2	Sun Fire 3800 システムのケーブルレースウェイの位置	30
表 3-3	Sun Fire 3800 3 つの構成システムでのキャビネットガードの位置	40
表 3-4	Sun Fire 3800 デュアル構成システムでのキャビネットガードの位置	40
表 3-5	Sun Fire 3800 シングル構成システムでのキャビネットガードの位置	40

はじめに

このマニュアルでは、Sun Fire™ 4810 および Sun Fire 4800、Sun Fire 3800 システムを Sun Fire キャビネットに取り付ける方法について説明します。これらのシステムを業界標準の 19 インチラックに取り付ける方法については説明しません。

このマニュアルは、ネットワークの知識を持つ経験豊富なシステムエンジニアまたはフィールドエンジニアを対象としています。

書体と記号について

このマニュアルで使用している書体と記号について説明します。

表 P-1 このマニュアルで使用している書体と記号

書体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を実行します。 <code>% You have mail.</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	マシン名% su Password:
AaBbCc123 またはゴシック	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	<code>rm filename</code> と入力します。 <code>rm ファイル名</code> と入力します。

表 P-1 このマニュアルで使用している書体と記号 (続き)

書体または記号	意味	例
『 』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「 」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅をこえる場合に、継続を示します。	% <code>grep `^#define \ XV_VERSION_STRING`</code>

関連マニュアル

表 P-2 関連マニュアル

用途	マニュアル名	Part No.
	『Sun Fire 4810/4800/3800 システムの概要』	806-7898
	『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システム製品概要』	806-7899
ハードウェア	『Sun Fire 4810/4800/3800 システムインストールマニュアル』	806-7900
	『Sun Fire キャビネット設置およびリファレンスマニュアル』	816-0059
	『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムサービスマニュアル』	806-7902
ソフトウェア	『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムコントローラコマンドリファレンスマニュアル』	806-7903
	『Sun Fire 6800/4810/4800/3800 システムプラットフォーム管理ガイド』	806-7904

警告と注意



注意 - この装置には高電圧が流れています。センタープレーンおよびカードケージ、ドライブエリアに接触した場合、死亡または重傷を負う危険性があります。



注意 - 無資格者が不当な処理を行った場合、装置に重大な損傷が発生する可能性があります。無資格者による不正な扱いによって損害が発生した場合は、法的責任を問われることがあります。

この装置の外部パネルを取り外したり、カバーを開けたりする場合、すべての安全対策を施した上で、技術レベル要件、許可、および適用される地域法と国内法を遵守していることを確認してください。

このマニュアルで説明している手順は、有資格で、トレーニングを受けた保守プロバイダが行う必要があります。

注 - 作業を始める前に、このマニュアルの手順をよく読んでください。同等の装置で同様の操作を行ったことがない場合は、この手順を実行しないでください。

第1章

Sun Fire キャビネットへの Sun Fire 4810 システムの設置

Sun Fire 4810 システムは、ラックに設置します。システムを Sun Fire キャビネット格納装置に設置するために必要なすべてのハードウェアは、出荷用梱包箱に同梱されています。

- 1 ページの「工具類」
- 2 ページの「留め具の取り付け」
- 4 ページの「Sun Fire 4810 システムの設置」
- 7 ページの「Sun Fire 4810 システムへの電源ケーブルの接続」
- 9 ページの「キャビネット正面パネルの取り付け」
- 11 ページの「キャビネットガードの取り付け」
- 12 ページの「FrameManager へのシステムコントローラの接続」

工具類

次の工具類が必要です。

- プラスのねじ回し (Phillips の 2 番)



注意 – Sun Fire 4810 システムの重量は、約 138.3 kg (305 ポンド) になります。怪我を防ぐために、システムをキャビネットに移動するときは、耐荷重 136.1 kg (300 ポンド) 以上のコンピュータ装置用リフトを使用して 2 人で作業してください。

留め具の取り付け

1. 各留め具に 5 つのねじを使用して、4 つのシステム留め具を Sun Fire 4810 システムに垂直に取り付けます。システムの正面および背面から張り出すように留め具を取り付けます。

システム留め具は同一であるため、Sun Fire 4810 システムのどちら側にも取り付けることができます (図 1-1)。

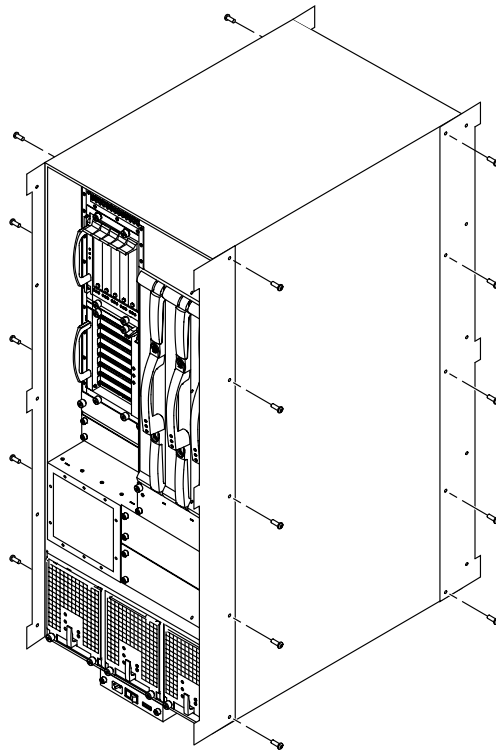


図 1-1 Sun Fire 4810 システムへのシステム留め具の取り付け

2. 各レールに 4 つのねじを使用して、2 つのレールを Sun Fire キャビネットに水平に取り付けます。各ハンガーホールをキャビネットのホール 22 番に、下部スロットをキャビネットのホール 20 番にねじで取り付けます。

2 つのレールは同一であるため、システムのどちら側にも取り付けることができます。詳細は、図 1-3 を参照してください。

3. 各留め具に 8 つのねじを使用して、4 つのキャビネット留め具を Sun Fire キャビネットに垂直に取り付けます。

留め具の端に近いホールには、横に文字が付いています (図 1-2)。上下逆に見える文字は無視してください。これらの文字は、反対側では正しい向きになります。

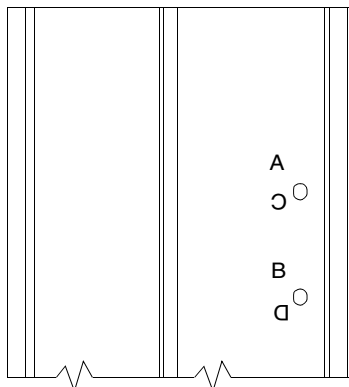


図 1-2 キャビネット留め具の文字の付いたホール

ホールの位置については図 1-3 を参照してください。文字の付いたホールを合わせると、留め具の残りのホールはキャビネットのホールと並びます。

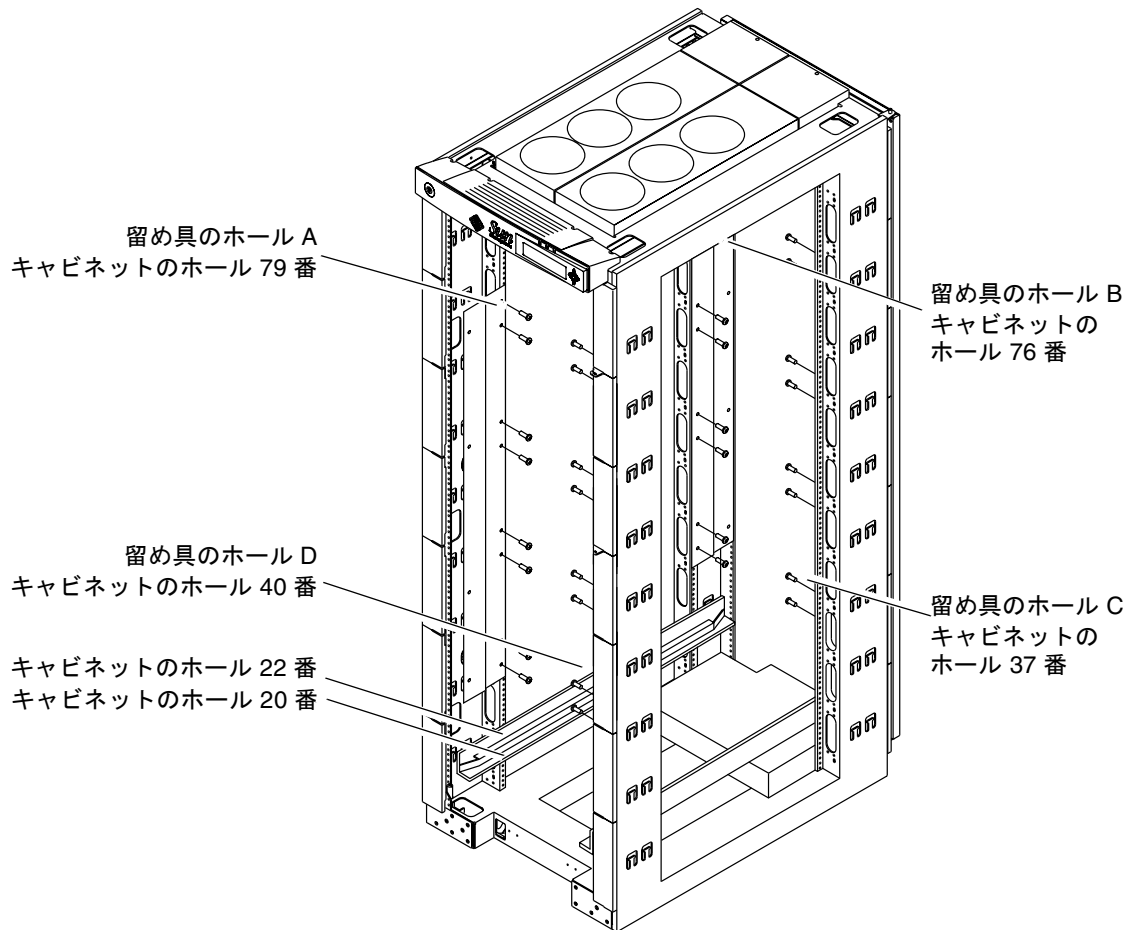


図 1-3 Sun Fire キャビネットへのキャビネット留め具およびレールの取り付け

Sun Fire 4810 システムの設置

1. システムを設置する場所に近い電源コード 3 本をキャビネットからほどき、システムを設置したあとで使用できるようにします。

電源コードは、片方の端が冗長転送ユニット (RTU) のアセンブリに接続された状態で、Sun Fire キャビネットにあらかじめ取り付けられています。

注 - 電源コードの接続については、<http://docs.sun.com> の『Rackmount Placement Matrix』を参照してください。



注意 - Sun Fire 4810 システムの重量は、約 138.3 kg (305 ポンド) になります。怪我を防ぐために、システムをキャビネットに移動するときは、コンピュータ装置用リフトを使用して 2 人で作業してください。



注意 - システムおよび記憶装置を設置する前に、キャビネットが固定されていることを確認してください。転倒防止バーを使用すると、キャビネットが傾くのを防ぐことができます。

2. Sun Fire キャビネットの水平レールにシステムを挿入します (図 1-4)。

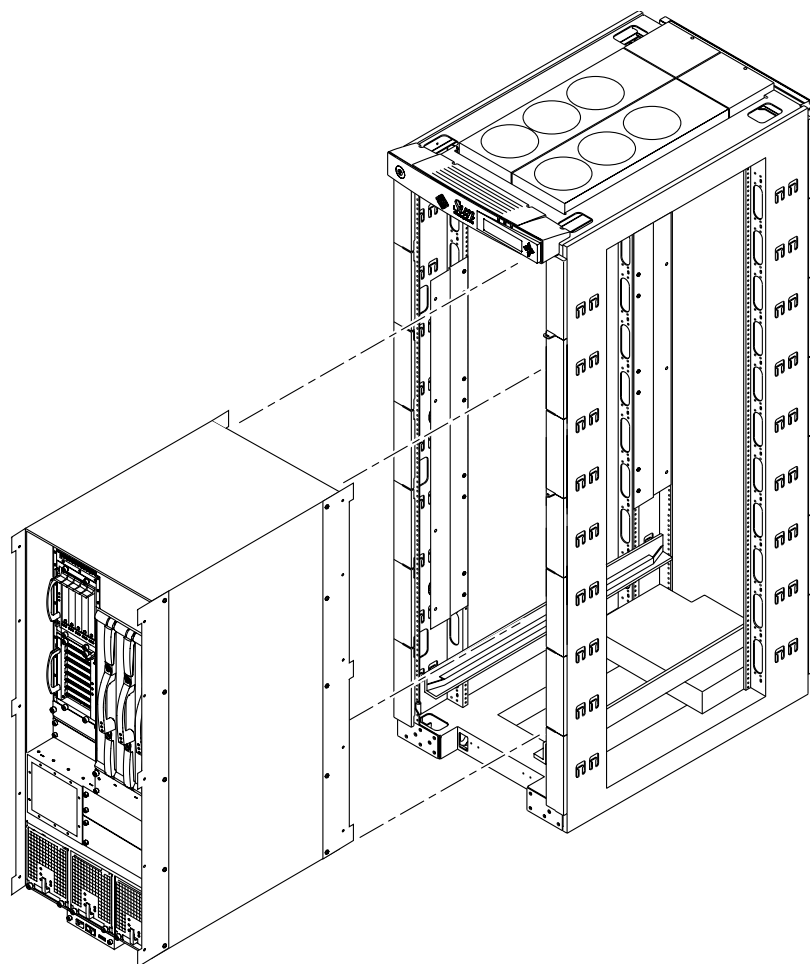


図 1-4 Sun Fire キャビネットへの Sun Fire 4810 システムの設置

3. 各留め具に 4 つのねじを使用して、システム留め具をキャビネット留め具に固定します。

Sun Fire 4810 システムへの 電源ケーブルの接続

1. Sun Fire キャビネットの各電源スイッチが、オフに設定されていることを確認します (図 1-5)。

注 - デュアル RTU 構成の場合、電源スイッチはキャビネットの正面と背面の両方にあります。すべての電源スイッチを必ずオフにしてください。

2. Sun Fire 4810 システムの各電源スイッチが、オフに設定されていることを確認します (図 1-5)。
3. 電源コードを、システム上の電源コードソケットに接続します。
「Sun Fire 4810 システムの設置」の手順 1 で、キャビネットから 3 本の電源コードをほどこき、じゃまにならない場所に移動してあります。
4. 電源コードソケットの上にあるねじを緩めます。
タイラップを固定する留め具が緩められます。
5. 電源コードに留め具をしっかりと固定します。
6. 電源コードが外れないように、タイラップをしっかりと締めます。
タイラップがしっかりと締められていることを確認してください。余分なタイラップは切り取らないでください。
7. 電源コードの上にあるねじを締めます。
8. 3 本の電源コードに対し、手順 3 ~ 7 を繰り返します。



注意 - 感電する危険性があるので、まだ AC 電源を入れないでください。

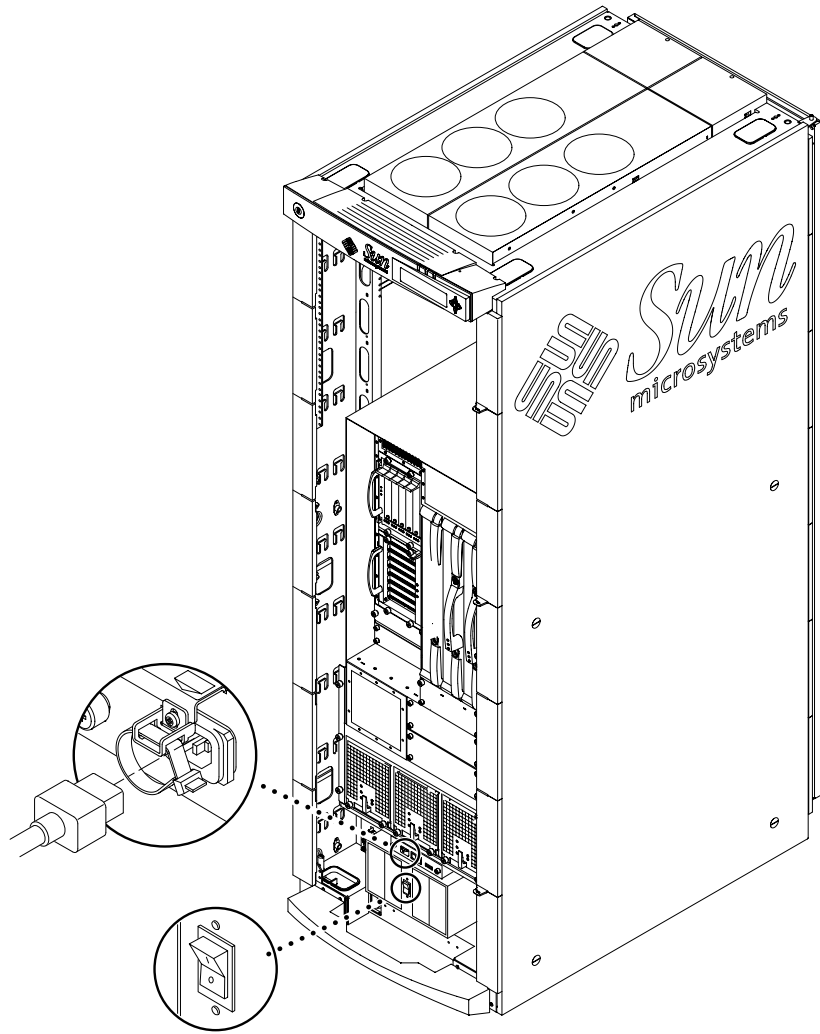


図 1-5 Sun Fire 4810 システムが設置されたキャビネットの電源スイッチの位置

キャビネット正面パネルの取り付け

1. 最初のキャビネット正面パネルをシステムのできるだけ上部に位置付け、パネルの左右からねじを締めて、Sun Fire キャビネットに固定します。

2. 残りのパネルを、各パネル正面の左右からねじを締めて固定します (図 1-6)。

各正面パネルは、下のパネルにできるだけ近付けます。システムより上の隙間を完全に埋めるためには、必要に応じて、異なる大きさの正面パネルを使用してください。隙間を完全に埋められない場合は、できるだけ小さな隙間をキャビネットの最上部に空けるようにしてください。

注 – 大きなキャビネット正面パネルは単なる装飾ではなく、キャビネットの背面から排出された高温の空気が、再び正面からシステムに入ることを防ぐものです。

3. 小さな装飾パネルをシステムに隣接するキャビネットに固定してください。

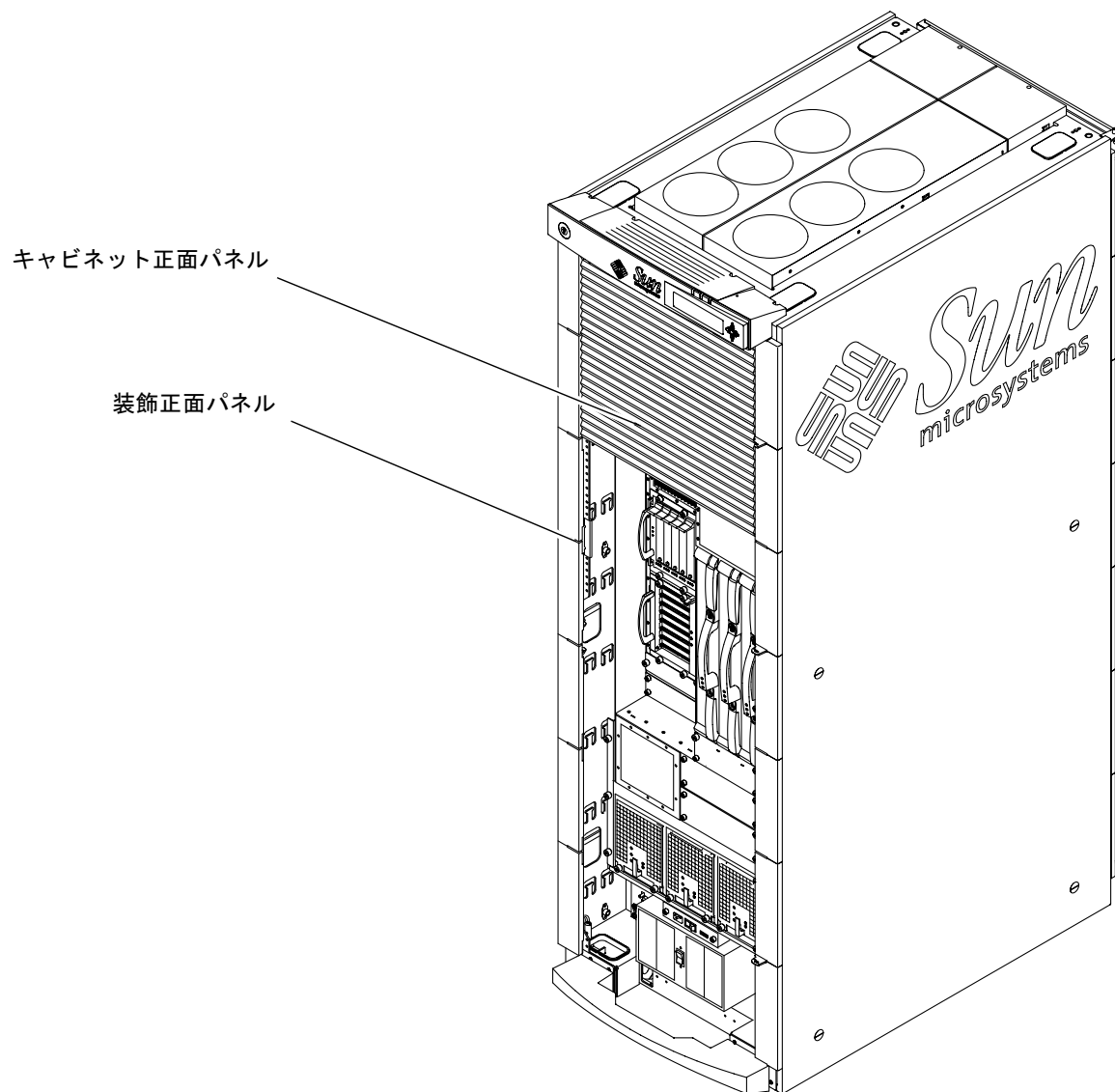


図 1-6 キャビネット正面パネルの位置

キャビネットガードの取り付け

キャビネットガードは、システムからボードを取り外すときに、怪我をしないように設計されています。

1. 表 1-1 を参照して、Sun Fire キャビネットの背面にあるキャビネットガードのホール位置を確認してください。

表 1-1 Sun Fire 4810 キャビネットガードの位置

キャビネットの左側	キャビネットの右側
上部のくぼみにキャビネット背面のホール 74 番	上部のくぼみにキャビネット背面のホール 70 番
上部のくぼみにキャビネット背面のホール 60 番	上部のくぼみにキャビネット背面のホール 61 番

2. キャビネットガードの上部の V 型くぼみと該当する番号のホールを合わせて、キャビネットの端に届くまで、ガードの中心部を強く押します (図 1-7)。

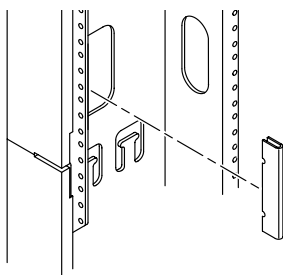


図 1-7 キャビネットガードの取り付け

FrameManager へのシステム コントローラの接続

Y シリアルケーブルを使用すると、主システムコントローラボードが Sun Fire キャビネットの FrameManager とシリアルケーブル端末接続から、同時にアクセスできるようになります。

1. 出荷キットにシステムと同梱されている Y シリアルケーブルの片方の端を、主システムコントローラのシリアルポートに接続します。
2. Y シリアルケーブルの「A」端をシリアルケーブル端末接続に接続します (ある場合)。
3. Y シリアルケーブルの「B」端を P2 ケーブルに接続します。

P2 ケーブルは FrameManager にあらかじめ接続され、Sun Fire キャビネットの右側にある電源ケーブルと一緒に固定されています。

4. 設置作業を続けるには、『Sun Fire 4810/4800/3800 システムインストールマニュアル』の第 2 章にある節「I/O アセンブリの接続」を参照してください。

第2章

Sun Fire キャビネットへの Sun Fire 4800 システムの設置

Sun Fire 4800 システムは、スタンドアロン装置として使用することも、ラックに設置して使用することもできます。システムを Sun Fire キャビネットに設置するために必要なすべてのハードウェアは、出荷用梱包箱に同梱されています。

Sun Fire キャビネットには、1 つの Sun Fire 4800 システムを搭載できます。

- 13 ページの「工具類」
- 14 ページの「レールの取り付け」
- 16 ページの「バンパーの取り外し」
- 17 ページの「側面パネルの取り外し」
- 18 ページの「キャスターの取り外し」
- 18 ページの「Sun Fire 4800 システムの設置」
- 20 ページの「Sun Fire 4800 システムへの電源ケーブルの接続」
- 22 ページの「キャビネット正面パネルの取り付け」
- 24 ページの「キャビネットガードの取り付け」
- 25 ページの「FrameManager へのシステムコントローラの接続」

工具類

次の工具類が必要です。

- プラスのねじ回し (Phillips の 2 番)



注意 – Sun Fire 4800 システムの重量は、約 131.1 kg (289 ポンド) になります。怪我を防ぐために、システムをキャビネットに移動するときは、耐荷重 136.1 kg (300 ポンド) 以上のコンピュータ装置用リフトを使用して 2 人で作業してください。

レールの取り付け

1. 各レールに 4 つのねじ (ハンガーホールに 2 つ、ハンガーホールの上にあるスロットに 2 つ) を使用して、レールを Sun Fire キャビネットに取り付けます。キャビネットのホール番号は、図 2-1 を参照してください。

上部レールは同一です。ハンガーホールの近くには、矢印が付いています。上部レールを正しい方向に取り付けるため、矢印を上に向けます。

下部レールでは、内側の左右のホールが同じであるため、レールはキャビネットのどちら側にも取り付けることができます。下部レールにある背面側のハンガーホールの組み合わせを使用して、下部レールがキャビネットから前に張り出すように取り付けます。

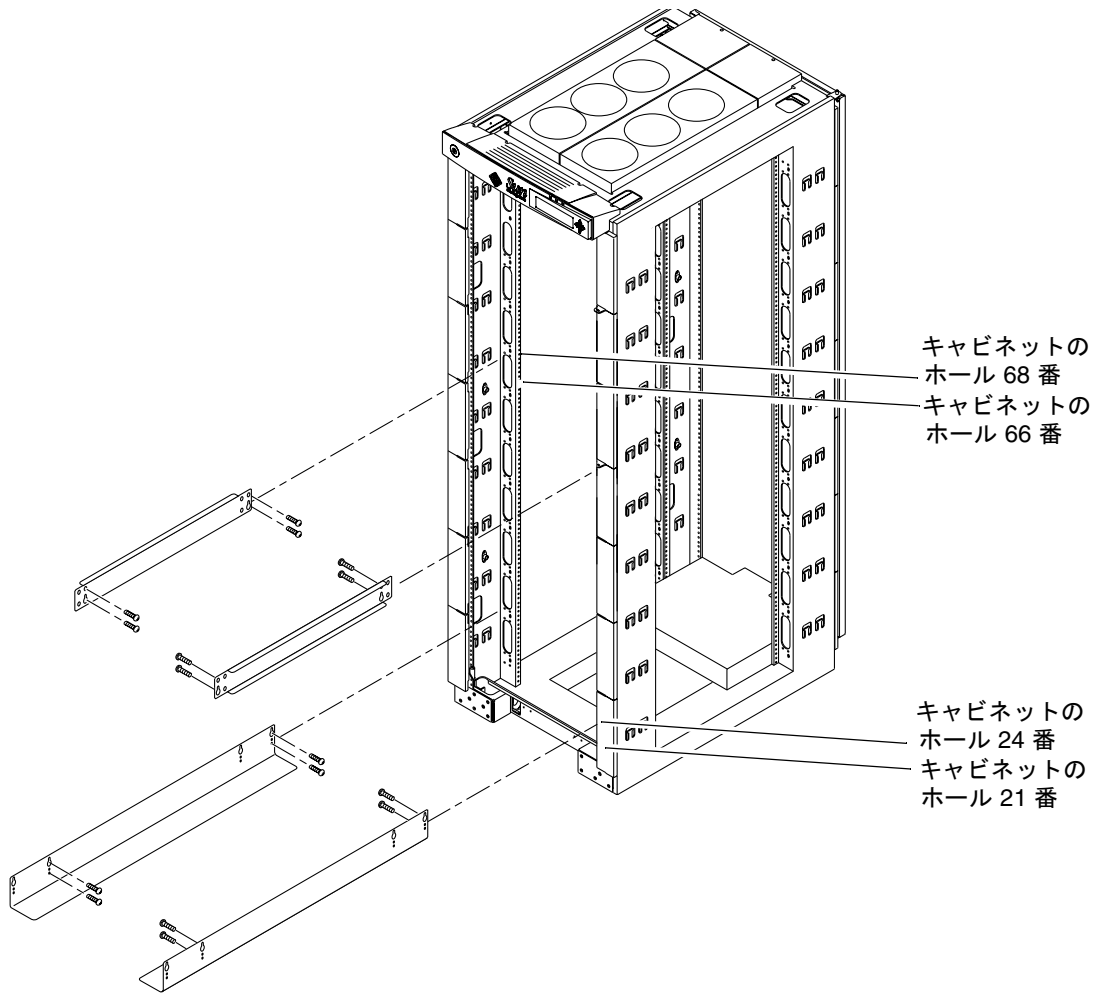


図 2-1 Sun Fire キャビネットへのレールの取り付け

バンパーの取り外し

1. Sun Fire 4800 システムにバンパーを固定している M5 ねじを取り外します。

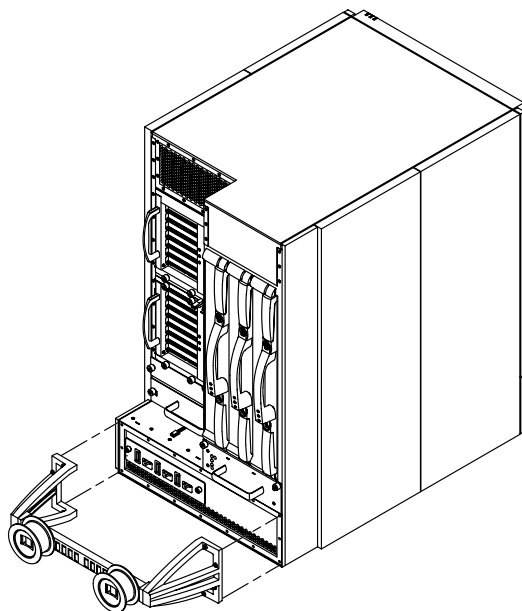


図 2-2 Sun Fire 4800 システムのバンパーの位置

側面パネルの取り外し

1. パネルがロックされている位置から外れるまでパネルを上方にスライドさせながら、パネルの下部を引き出します。
2. 手順 1 を繰り返して、6 枚のパネルをすべて取り外してください。

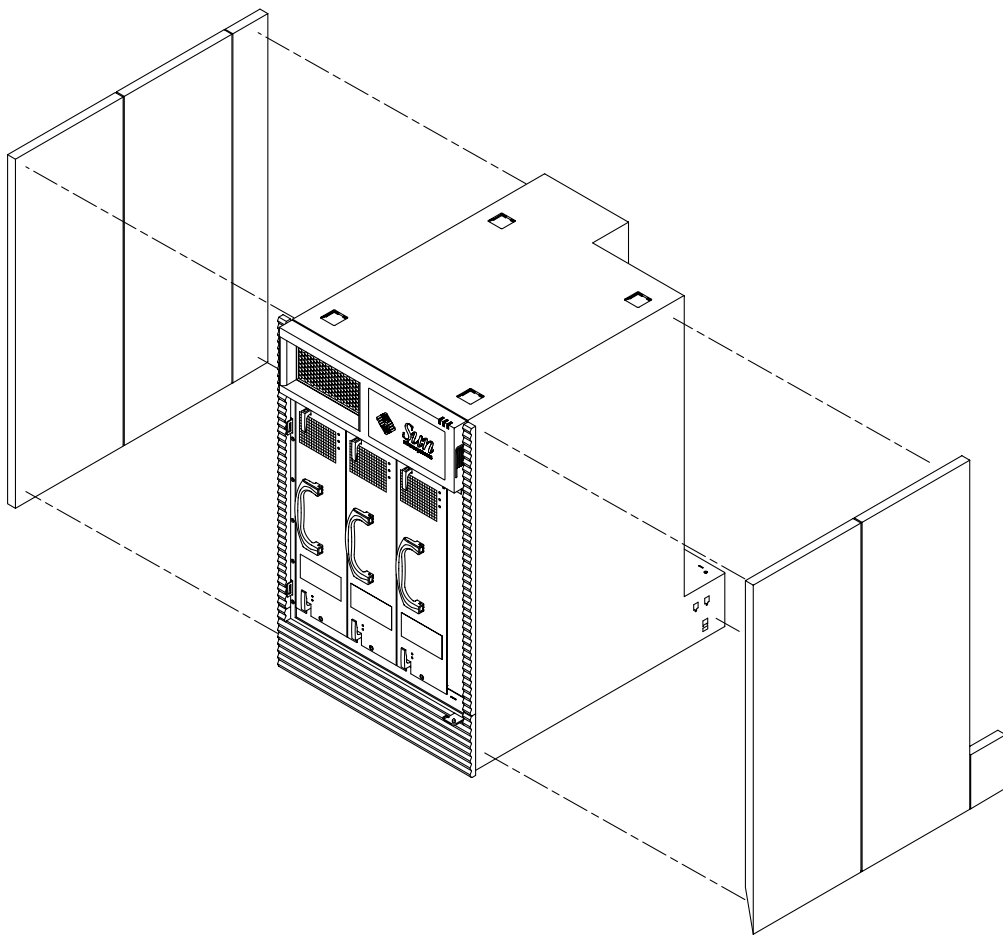


図 2-3 Sun Fire 4800 システムからの側面パネルの取り外し

キャスターの取り外し

システムの底部に対し作業ができるように、Sun Fire 4800 システムをコンピュータ装置用リフトで床から持ち上げておきます。

1. システムの底部にキャスターを固定している 4 つの M6 ねじを取り外します。
2. 手順 1 を繰り返して、4 つのキャスターをすべて取り外してください。

Sun Fire 4800 システムの設置

1. システムを設置する場所に近い電源コード 3 本をキャビネットからほどき、システムを設置したあとで使用できるようにします。

電源コードは、片方の端が冗長転送ユニット (RTU) のアセンブリに接続された状態で、Sun Fire キャビネットにあらかじめ取り付けられています。

注 - 電源コードの接続については、<http://docs.sun.com> の『Rackmount Placement Matrix』を参照してください。



注意 - Sun Fire 4800 システムの重量は、約 131.1 kg (289 ポンド) になります。怪我を防ぐために、システムをキャビネットに移動するときは、コンピュータ装置用リフトを使用して 2 人で作業してください。



注意 - システムおよび記憶装置を設置する前に、キャビネットが固定されていることを確認してください。転倒防止バーを使用すると、キャビネットが傾くのを防ぐことができます。

2. 正面から、キャビネットの下部取り付けレールにシステムを挿入します (図 2-4)。
3. 4 つのねじを使用して、システムの正面をキャビネットに固定します。

4. 各留め具を レールとシステムに固定するためにそれぞれねじを 2 つ使用して、L 型留め具を上部レールに固定します。

キャビネットの背面に向かって、L 型留め具 (大) は左側に、L 型留め具 (小) は右側に取り付けます。

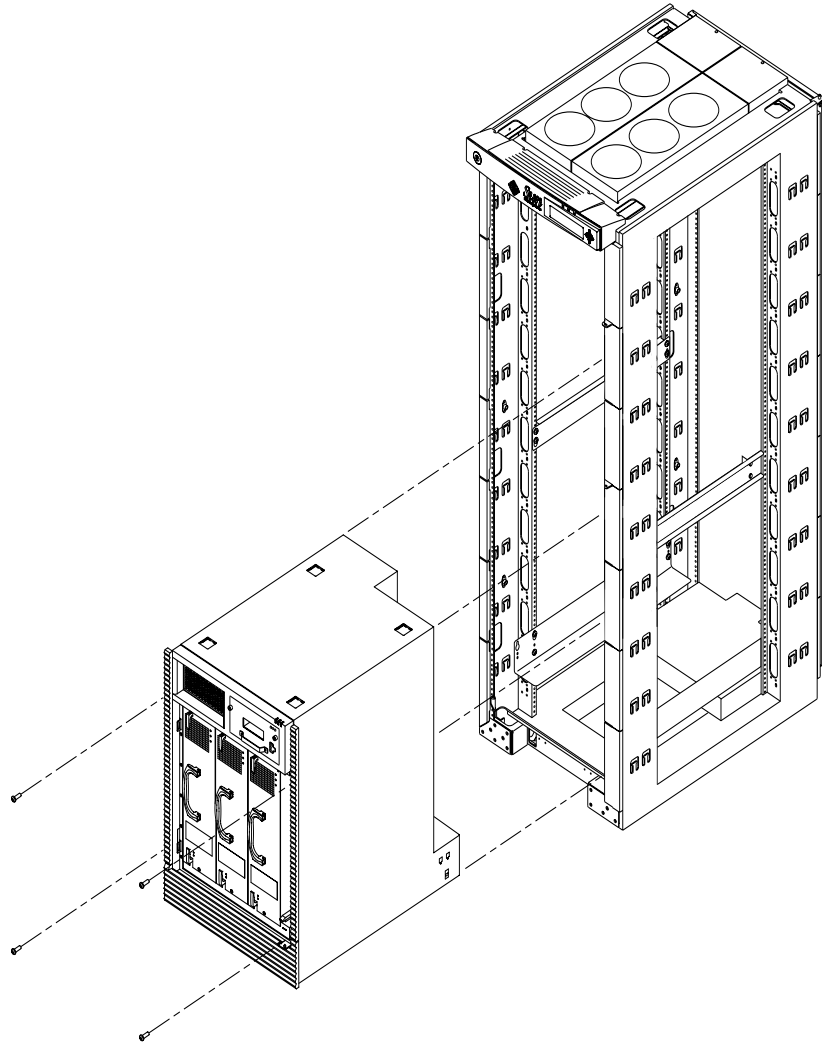


図 2-4 Sun Fire キャビネットへの Sun Fire 4800 システムの取り付け

Sun Fire 4800 システムへの 電源ケーブルの接続

1. Sun Fire キャビネットの各電源スイッチが、オフに設定されていることを確認します (図 2-5)。

注 - デュアル RTU 構成の場合、電源スイッチはキャビネットの正面と背面の両方にあります。すべてのスイッチを必ずオフにしてください。

2. Sun Fire 4800 システムの各電源スイッチが、オフに設定されていることを確認します。
3. 前述の手順で選択した電源コードを、システム上の電源コードソケットに接続します。
「Sun Fire 4800 システムの設置」の手順 1 で、キャビネットから 3 本の電源コードをほどこき、じゃまにならない場所に移動してあります。
4. 電源コードソケットの上にあるねじを緩めます。
タイラップを固定する留め具が緩められます。
5. 電源コードに留め具をしっかりと固定します。
6. 電源コードが外れないように、タイラップをしっかりと締めます。
タイラップがしっかりと締められていることを確認してください。余分なタイラップは切り取らないでください。
7. 電源コードソケットの上にあるねじを締めます。
8. 3 本の電源コードに対し、手順 3 ~ 7 を繰り返します。



注意 - 感電する危険性があるので、まだ AC 電源を入れないでください。

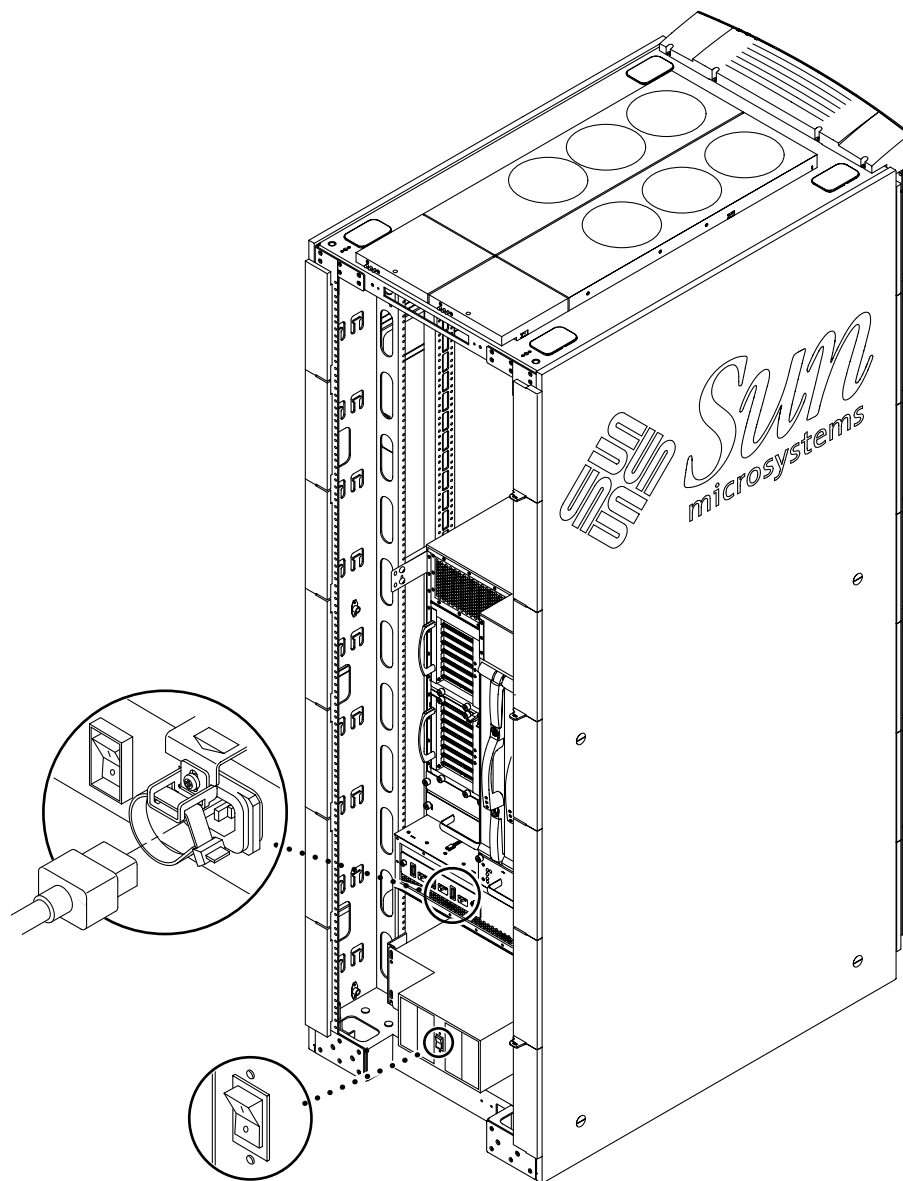


図 2-5 Sun Fire 4800 システムが設置されたキャビネットの電源スイッチの位置

キャビネット正面パネルの取り付け

1. 最初のキャビネット正面パネルをシステムのできるだけ上部に位置付け、パネルの左右からねじを締めて、Sun Fire キャビネットに固定します。

2. 残りのパネルを、各パネル正面の左右からねじを締めて固定します (図 2-6)。

各正面パネルは、下のパネルにできるだけ近付けます。システムより上の隙間を完全に埋めるためには、必要に応じて、異なる大きさの正面パネルを使用してください。隙間を完全に埋められない場合は、できるだけ小さな隙間をキャビネットの最上部に空けるようにしてください。

注 – 大きなキャビネット正面パネルは単なる装飾ではなく、キャビネットの背面から排出された高温の空気が、再び正面からシステムに入ることを防ぐものです。

3. 小さな装飾パネルをシステムに隣接するキャビネットに固定してください。

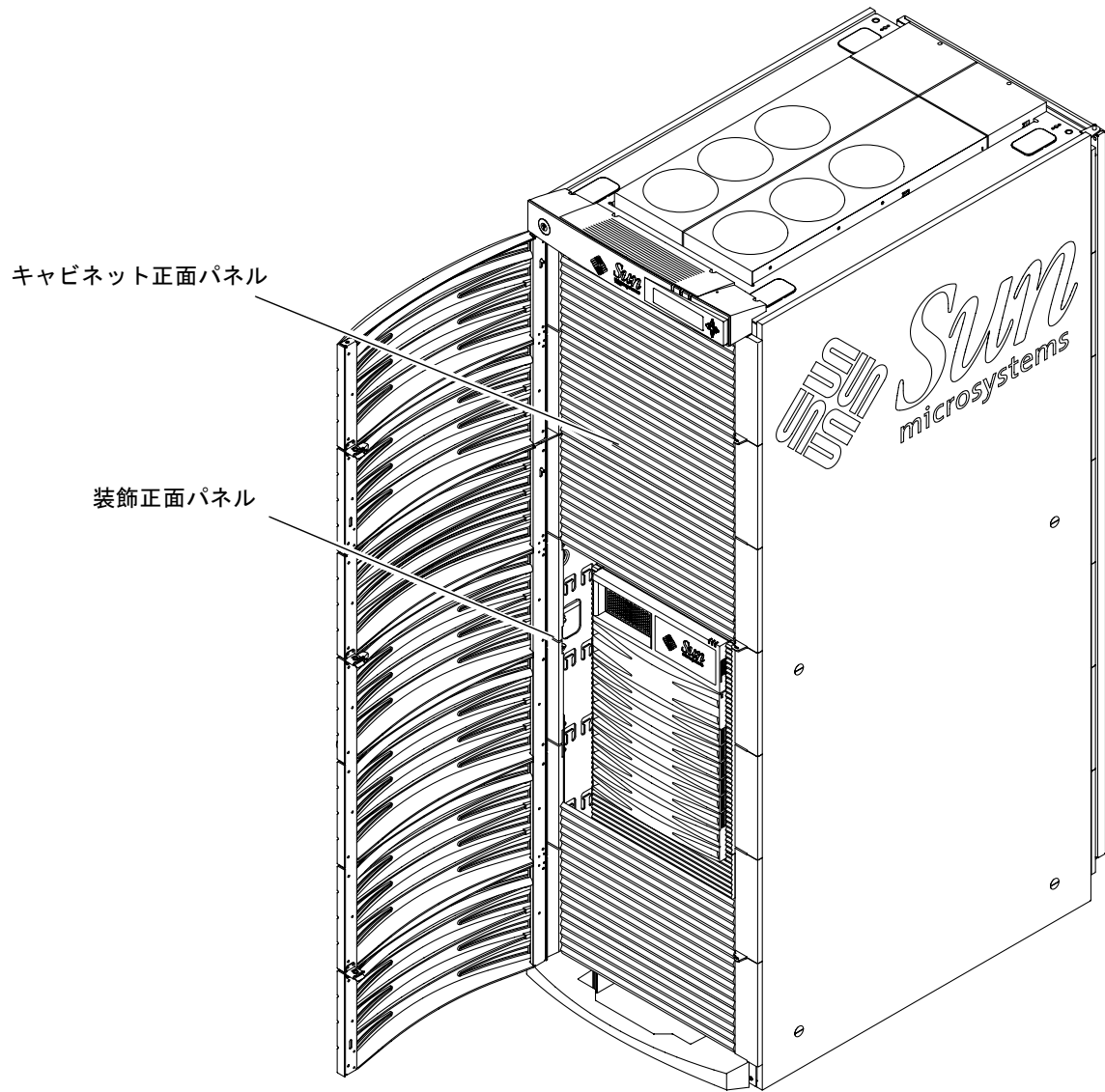


図 2-6 キャビネット正面パネルの位置

キャビネットガードの取り付け

キャビネットガードは、システムからボードを取り外すときに、怪我をしないように設計されています。

1. 表 2-1 を参照して、Sun Fire キャビネットの背面にあるキャビネットガードのホール位置を確認してください。

表 2-1 Sun Fire 4800 キャビネットガードの位置

キャビネットの左側	キャビネットの右側
上部のくぼみにキャビネットのホール 59 番	上部のくぼみにキャビネットのホール 58 番
上部のくぼみにキャビネットのホール 45 番	上部のくぼみにキャビネットのホール 49 番
上部のくぼみにキャビネットのホール 10 番	上部のくぼみにキャビネットのホール 10 番

2. キャビネットガードの上部の V 型くぼみと該当する番号のホールを合わせて、キャビネットの端に届くまで、ガードの中心部を強く押します (図 2-7)。

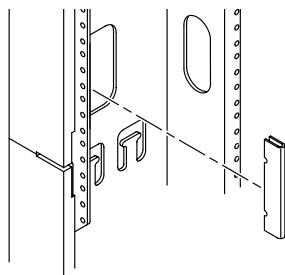


図 2-7 キャビネットガードの取り付け

FrameManager へのシステム コントローラの接続

Y シリアルケーブルを使用すると、主システムコントローラボードが Sun Fire キャビネットの FrameManager とシリアルケーブル端末接続から、同時にアクセスできるようになります。

1. 出荷キットにシステムと同梱されている Y シリアルケーブルの片方の端を、主システムコントローラのシリアルポートに接続します。
2. Y シリアルケーブルの「A」端をシリアルケーブル端末接続に接続します (ある場合)。
3. Y シリアルケーブルの「B」端を P2 ケーブルに接続します。
P2 ケーブルは FrameManager にあらかじめ接続され、Sun Fire キャビネットの右側にある電源ケーブルと一緒に固定されています。
4. 設置作業を続けるには、『Sun Fire 4810/4800/3800 システムインストールマニュアル』の第 3 章にある節「I/O アセンブリの接続」を参照してください。

第3章

Sun Fire キャビネットへの Sun Fire 3800 システムの設置

Sun Fire 3800 システムは、ラックに設置して使用するスタンドアロン装置です。システムを Sun Fire キャビネット に設置するために必要なすべてのハードウェアは、出荷用梱包箱に同梱されています。Sun Fire キャビネットには、3つの Sun Fire 3800 システムを搭載できます。

- 27 ページの「工具類」
- 28 ページの「レールの取り付け」
- 30 ページの「ケーブルレースウェイの取り付け」
- 32 ページの「Sun Fire 3800 システムの設置」
- 34 ページの「Sun Fire キャビネットの拡張部品の取り付け」
- 36 ページの「Sun Fire 3800 システムへの電源ケーブルの接続」
- 38 ページの「キャビネット正面パネルの取り付け」
- 40 ページの「キャビネットガードの取り付け」
- 42 ページの「FrameManager へのシステムコントローラの接続」

工具類

次の工具類が必要です。

- プラスのねじ回し (Phillips の 2 番)



注意 – Sun Fire 3800 システムの重量は、約 90.7 kg (200 ポンド) になります。怪我を防ぐために、システムをキャビネットに移動するときは、耐荷重 90.7 kg (200 ポンド) 以上のコンピュータ装置用リフトを使用して 2 人で作業してください。

レールの取り付け

1. システムに取り付けるレールの位置を決定します。

システム正面に向かって、レールには「RIGHT」または「LEFT」のラベルが付いています。

各レールには 16 のホールがあります。8 つが耐荷重ハンガーホールで、8 つがスロットです。Sun Fire 3800 システムの設置に使用するハンガーホールを、図 3-1 に示します。

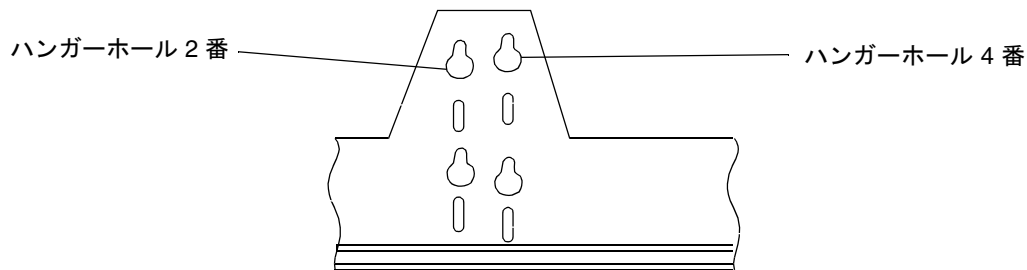


図 3-1 レールホールの識別

表 3-1 Sun Fire 3800 システムに搭載する順番

Sun Fire 3800 システムの設置位置	キャビネットの下からのホール番号
3 番のシステム (上)	上部ねじ: キャビネットホール 78 番とレールハンガーホール 4 番 下部ねじ: キャビネットホール 72 番とスロット
2 番のシステム (中)	上部ねじ: キャビネットホール 52 番とレールハンガーホール 2 番 下部ねじ: キャビネットホール 47 番とスロット
1 番のシステム (下)	上部ねじ: キャビネットホール 26 番とレールハンガーホール 4 番 下部ねじ: キャビネットホール 20 番とスロット

2. 各レールに4つの取り付けねじを使用して、レールを Sun Fire キャビネットに取り付けます (図 3-2)。

レールとキャビネットホールの詳細は、表 3-1 を参照してください。

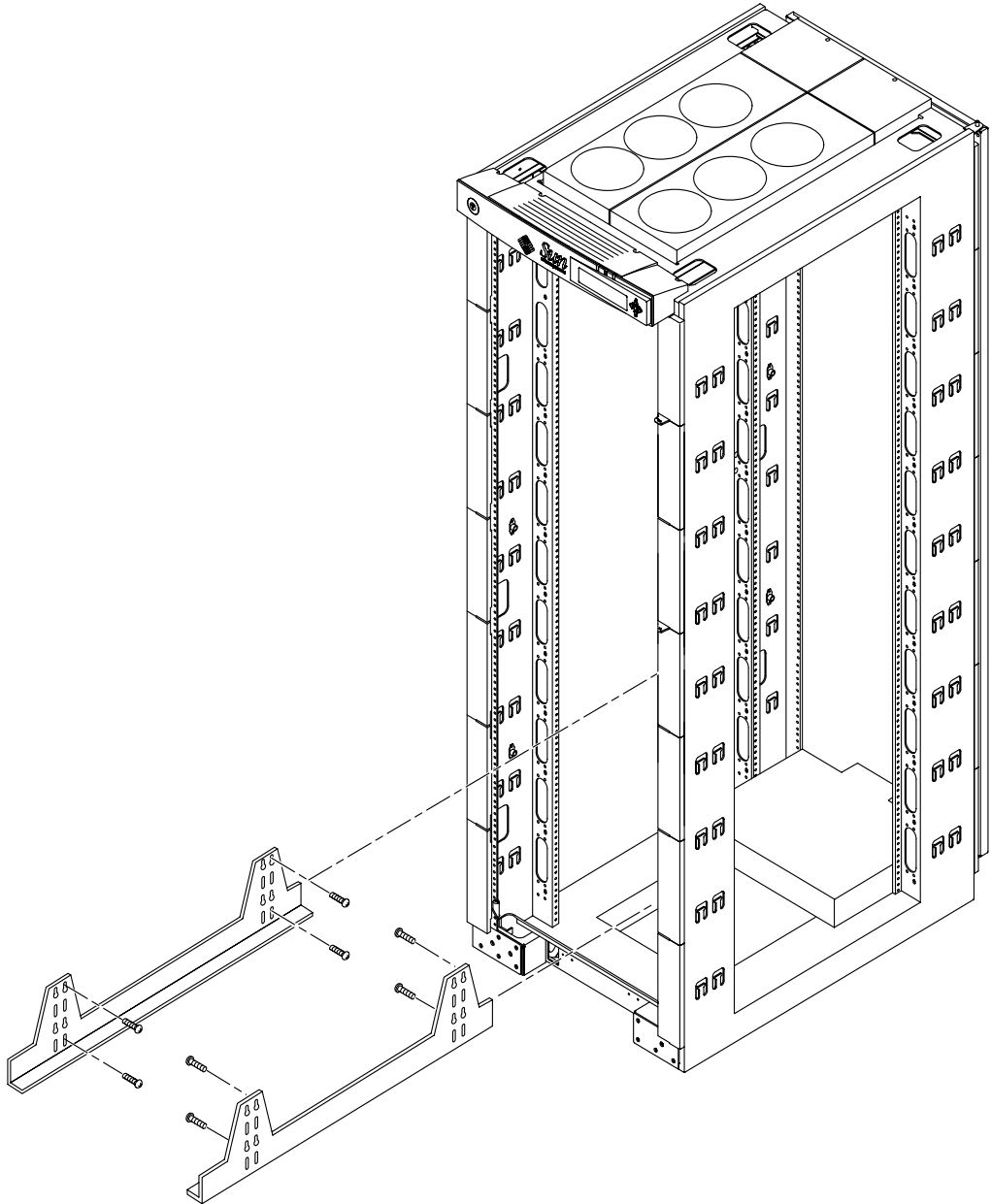


図 3-2 Sun Fire キャビネットへの固定部品の取り付け

ケーブルレースウェイの取り付け

1. システムのケーブルレースウェイのホールの位置を決定します。

表 3-2 Sun Fire 3800 システムのケーブルレースウェイの位置

Sun Fire 3800 システムの ケーブルレースウェイの位置	ラックの下からの グロメットのホール番号
3 番のシステム (上)	8 および 9
2 番のシステム (中)	6 および 7
1 番のシステム (下)	3 および 4

ケーブルレースウェイのホールは、キャビネットの下から数えます。

2. ケーブルレースウェイをキャビネットに斜めに挿入し、キャビネットの背面で、適切なグロメットと合わせます (図 3-3)。
3. ケーブルレースウェイをキャビネットの正面で、適切なグロメットと合わせます。

4. 手順 2 ~ 4 を繰り返して、Sun Fire キャビネットの両側にレースウェイを 2 つずつ取り付けます。

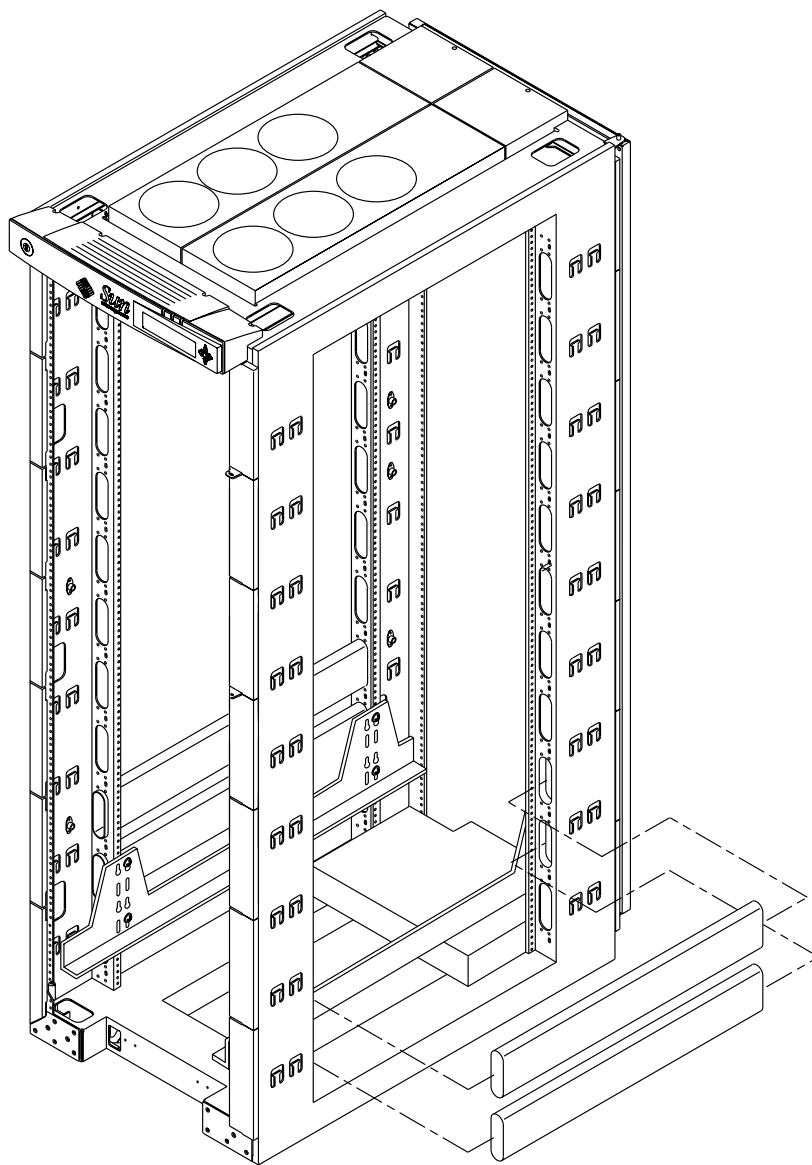


図 3-3 ケーブルレースウェイの取り付け

Sun Fire 3800 システムの設置

1. システムを設置する場所に近い電源コード 3 本をキャビネットからほどき、システムを設置したあとで使用できるようにします。

電源コードは、片方の端が冗長転送ユニット (RTU) のアセンブリにすでに接続された状態で、Sun Fire キャビネットにあらかじめ取り付けられています。

注 – 電源コードの接続については、<http://docs.sun.com> の『Rackmount Placement Matrix』を参照してください。



注意 – Sun Fire 3800 システムの重量は、約 90.7 kg (200 ポンド) になります。怪我を防ぐために、システムをキャビネットに移動するときは、コンピュータ装置用リフトを使用して 2 人で作業してください。



注意 – システムおよび記憶装置を設置する前に、キャビネットが固定されていることを確認してください。転倒防止バーを使用すると、キャビネットが傾くのを防ぐことができます。

2. Sun Fire 3800 システムを Sun Fire キャビネットの留め具上に挿入します。
3. 6 つの取り付けねじを使用して (片側に 3 つずつ)、システムの正面をキャビネットに固定します (図 3-4)。
4. 2 つのねじを使用して、安全装置留め具をシステムの背面に固定します。
留め具がシステムの上部と揃うようにしてください。
5. 4 つのねじを使用して (片側に 2 つずつ)、安全装置留め具をキャビネットに固定します。

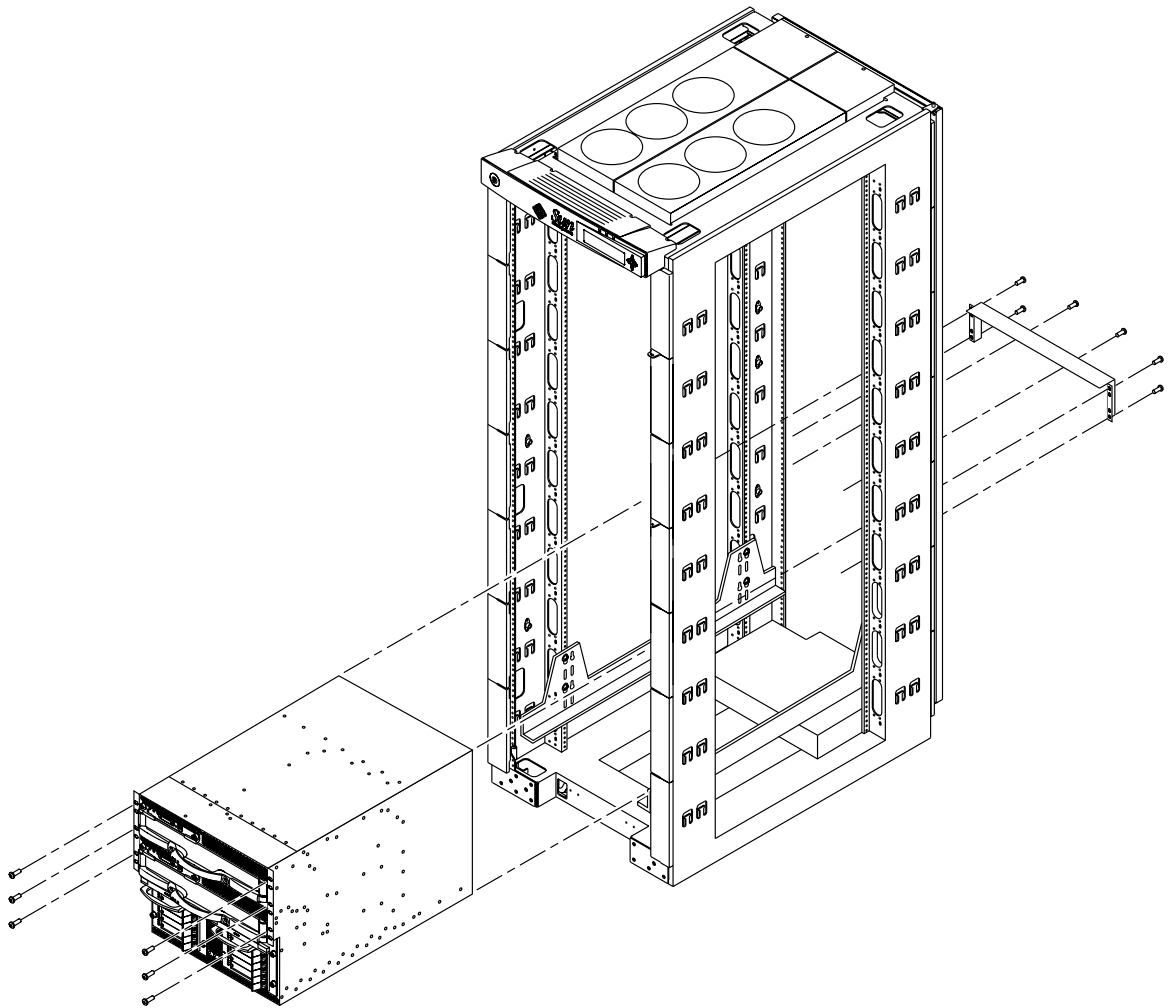


図 3-4 Sun Fire キャビネットへの Sun Fire 3800 システムの固定

Sun Fire キャビネットの拡張部品の 取り付け

キャビネットの拡張部品の取り付けによって、キャビネットの重量が 14.5 kg (32 ポンド) 増え、奥行きが 10.16 cm (4 インチ) 長くなります。

1. Sun Fire キャビネットの背面から、上部トリムパネルを取り外します。
上部トリムは、2つの M4 ねじで取り付けられています。同じ大きさの 10-32 ねじと混同しやすいので、別の場所に保管しておきます。
2. 留め金およびキックパネルを取り外します。
3. キックパネル留め具を取り外します。
キックパネル留め具はそれぞれ 2つのねじで取り付けられています。
4. 背面ドアのヒンジボルトを外し、ドアを取り外します。
4つの 10-32 ねじはすべて保管しておきます。
5. ドアの掛け金を取り外します。
2つの 10-32 ねじは保管しておきます。
6. 側面の拡張ねじ (片側に 8つずつ) を軽く締め、ねじに拡張部品を掛けます。
ねじは、ドアを掛けやすいように、キャビネットから張り出すようにする必要があります。
7. 上部拡張部品を取り付けます。
上部拡張部品は、2つの M4 ねじを使用して、キャビネットの上から下に取り付けます。手順 1 で保管しておいた 2つの M4 ねじを使用します。
8. 側面の拡張ねじ (片側に 8つずつ) を締め、装飾プラグを取り付けます。
装飾プラグは装飾用であり、オプションです。
9. 4つの 10-32 ねじを使用して、背面ドアのヒンジボルトを側面の拡張部品に固定します。
10. 2つの 10-32 ねじを使用して、ドアの掛け金を側面の拡張部品に再度取り付けます。
11. 下部部品を所定の位置にはめ込みます。

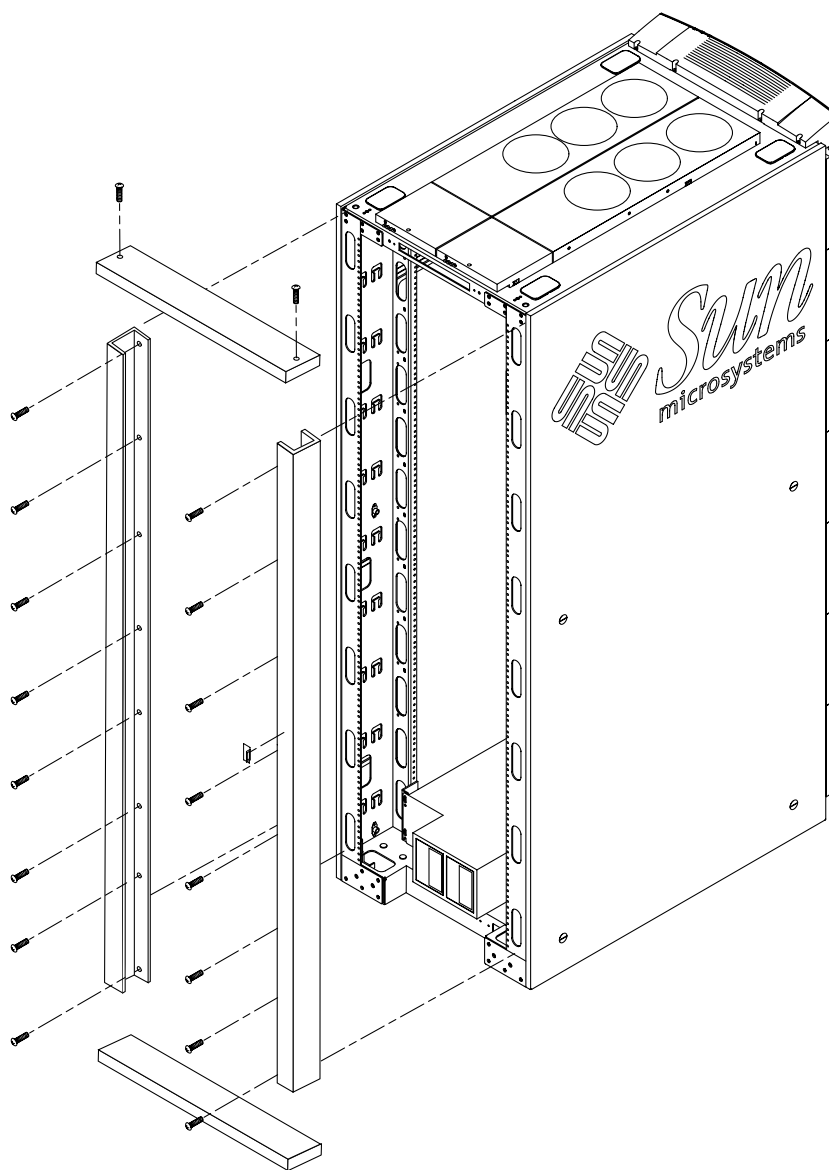


図 3-5 Sun Fire キャビネットの拡張部品の取り付け

Sun Fire 3800 システムへの 電源ケーブルの接続

1. Sun Fire キャビネットの各電源スイッチが、オフに設定されていることを確認します (図 3-6)。

注 - デュアル RTU 構成の場合、電源スイッチはキャビネットの正面と背面の両方にあります。すべての電源スイッチを必ずオフにしてください。

2. システムの各電源装置のスイッチが、オフに設定されていることを確認します。
3. 前述の手順で選択した電源コードを、システム上の電源コードソケットに接続します。
「Sun Fire 3800 システムの設置」の手順 1 で、キャビネットから電源コードをほどき、じゃまにならない場所に移動してあります。
4. 電源コードが外れないように、タイラップをしっかりと締めます。
タイラップがしっかりと締められていることを確認してください。余分なタイラップは切り取らないでください。



注意 - 感電する危険性があるので、まだ AC 電源を入れないでください。

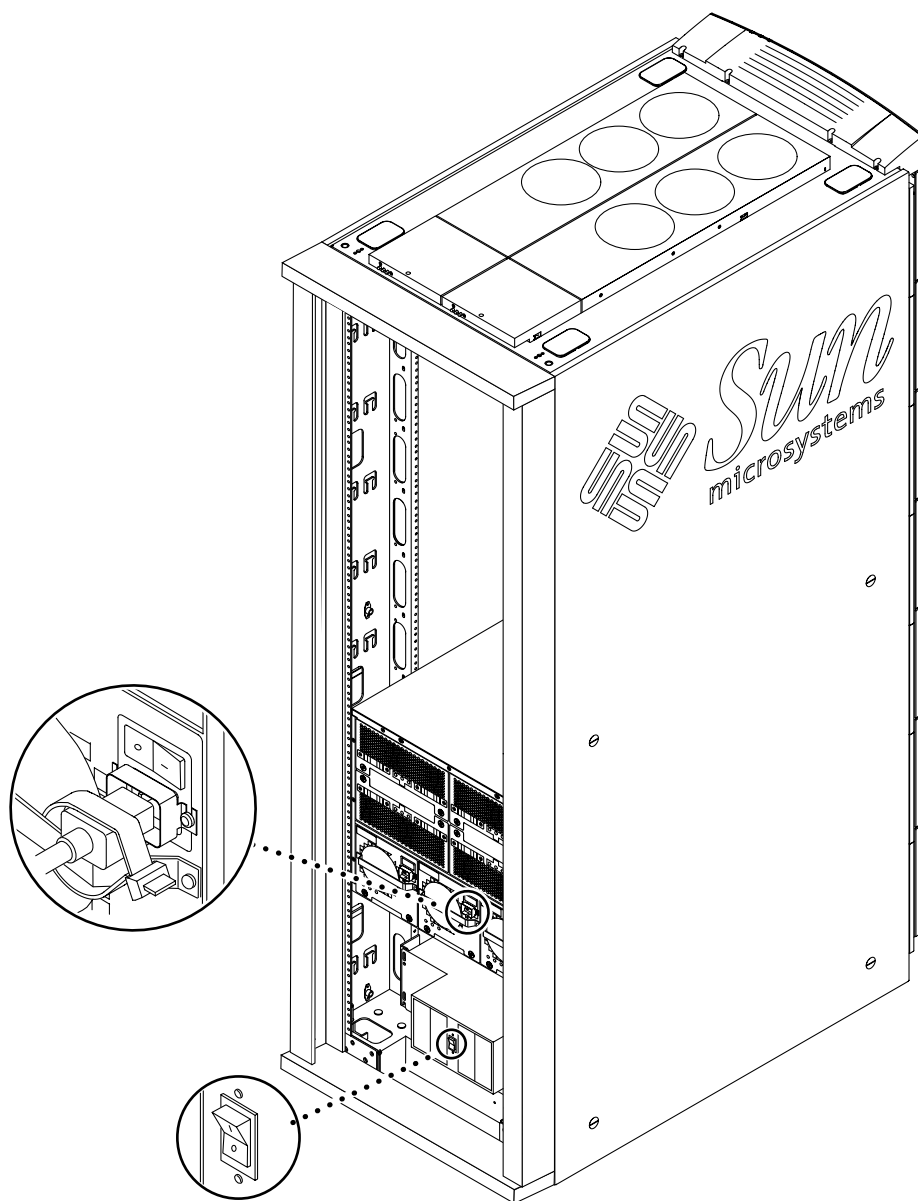


図 3-6 Sun Fire 3800 システムが設置されたキャビネットの電源スイッチの位置

キャビネット正面パネルの取り付け

1. 最初のキャビネット正面パネルをシステムのできるだけ上部に位置付け、パネルの左右からねじを締めて、Sun Fire キャビネットに固定します。

2. 残りのパネルは、各パネル正面の左右からねじを締めて固定します (図 3-7)。

各正面パネルは、下のパネルにできるだけ近付けます。システムより上の隙間を完全に埋めるためには、必要に応じて、異なる大きさの正面パネルを使用してください。隙間を完全に埋められない場合は、できるだけ小さな隙間をキャビネットの最上部に空けるようにしてください。

注 – 大きなキャビネット正面パネルは単なる装飾ではなく、キャビネットの背面から排出された高温の空気が、再び正面からシステムに入ることを防ぐものです。

3. 小さな装飾パネルをシステムに隣接するキャビネットに固定してください。

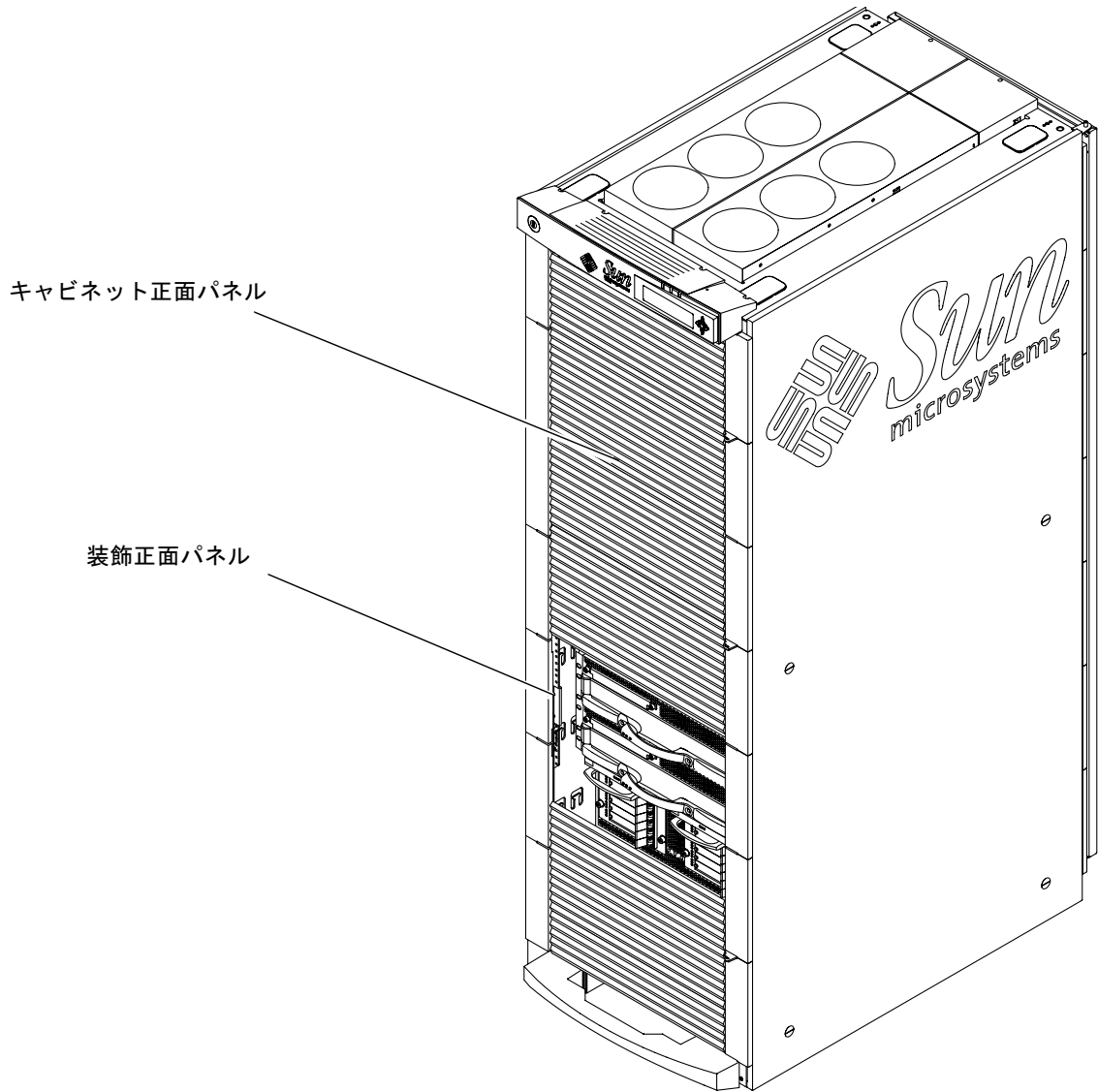


図 3-7 キャビネット正面パネルの位置

キャビネットガードの取り付け

キャビネットガードは、システムからボードを取り外すときに、怪我をしないように設計されています。

1. 表 3-3 または表 3-4、表 3-5を参照して、Sun Fire キャビネットの背面にあるキャビネットガードのホール位置を確認してください。

表 3-3 Sun Fire 3800 3つの構成システムでのキャビネットガードの位置

キャビネットの左側	キャビネットの右側
上部のくぼみにキャビネットホールの 79 番	上部のくぼみにキャビネットホールの 79 番
上部のくぼみにキャビネットホールの 53 番	上部のくぼみにキャビネットホールの 53 番
上部のくぼみにキャビネットホールの 27 番	上部のくぼみにキャビネットホールの 27 番

表 3-4 Sun Fire 3800 デュアル構成システムでのキャビネットガードの位置

キャビネットの左側	キャビネットの右側
上部のくぼみにキャビネットホールの 53 番	上部のくぼみにキャビネットホールの 53 番
上部のくぼみにキャビネットホールの 27 番	上部のくぼみにキャビネットホールの 27 番

表 3-5 Sun Fire 3800 シングル構成システムでのキャビネットガードの位置

キャビネットの左側	キャビネットの右側
上部のくぼみにキャビネットホールの 27 番	上部のくぼみにキャビネットホールの 27 番

2. キャビネットガードの上部の V 型くぼみと該当する番号のホールを合わせて、キャビネットの端に届くまで、ガードの中心部を押します (図 3-8)。

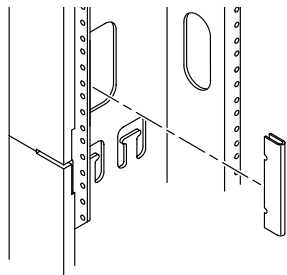


図 3-8 キャビネットガードの取り付け

FrameManager へのシステム コントローラの接続

Y シリアルケーブルを使用すると、主システムコントローラボードが Sun Fire キャビネットの FrameManager とシリアルケーブル端末接続から同時にアクセスできるようになります。

1. 出荷キットにシステムと同梱されている Y シリアルケーブルの片方の端を、主システムコントローラのシリアルポートに接続します。
2. Y シリアルケーブルの「A」端をシリアルケーブル端末接続に接続します (ある場合)。
3. Y シリアルケーブルの「B」端を P2 ケーブルに接続します。

P2 ケーブルは FrameManager にあらかじめ接続され、Sun Fire キャビネットの右側にある電源ケーブルと一緒に固定されています。

4. 設置作業を続けるには、『Sun Fire 4810/4800/3800 システムインストールマニュアル』の第 4 章にある節「I/O アセンブリの接続」を参照してください。

付録 A

Regulatory Compliance Statements

サンの製品には、次の適合規制条件のクラスが明記されています。

- 米連邦通信委員会 (FCC) — アメリカ合衆国
- カナダ政府通産省デジタル機器工業規格 (ICES-003) — カナダ
- 情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) — 日本
- 台湾經濟部標準檢驗局 (BSMI) — 台湾

本装置を設置する前に、装置に記載されているマークに従って、該当する節をよくお読みください。

FCC Class A Notice

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note – This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and if it is not installed and used in accordance with the instruction manual, it may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Shielded Cables: Connections between the workstation and peripherals must be made using shielded cables to comply with FCC radio frequency emission limits. Networking connections can be made using unshielded twisted-pair (UTP) cables.

Modifications: Any modifications made to this device that are not approved by Sun Microsystems, Inc. may void the authority granted to the user by the FCC to operate this equipment.

FCC Class B Notice

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note – This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/television technician for help.

Shielded Cables: Connections between the workstation and peripherals must be made using shielded cables in order to maintain compliance with FCC radio frequency emission limits. Networking connections can be made using unshielded twisted pair (UTP) cables.

Modifications: Any modifications made to this device that are not approved by Sun Microsystems, Inc. may void the authority granted to the user by the FCC to operate this equipment.

ICES-003 Class A Notice - Avis NMB-003, Classe A

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

ICES-003 Class B Notice - Avis NMB-003, Classe B

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.


VCCI 基準について

クラス A VCCI 基準について

クラス A VCCI の表示があるワークステーションおよびオプション製品は、クラス A 情報技術装置です。これらの製品には、下記の項目が該当します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

クラス B VCCI 基準について

クラス B VCCI の表示  があるワークステーションおよびオプション製品は、クラス B 情報技術装置です。これらの製品には、下記の項目が該当します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

BSMI Class A Notice

The following statement is applicable to products shipped to Taiwan and marked as Class A on the product compliance label.

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

付録 B

安全のための注意事項

安全のための注意事項

すべての作業に先立って、この章を必ずお読みください。この章では、Sun Microsystems, Inc. の製品を設置する際の取り扱い注意事項について説明しています。

取り扱いの注意

システムを設置する場合には、次のことに注意してください。

- 装置上に記載されている注意事項や取り扱い方法に従ってください。
- ご使用の電源の電圧や周波数が、装置の電気定格表示と一致していることを確認してください。
- 装置の開口部に物を差し込まないでください。内部は高電圧になります。金属など導体を入れるとショートして、発火、感電、装置の損傷の原因となることがあります。

記号について

このマニュアルでは、以下の記号を使用しています。



注意 – 事故や装置故障が発生する危険性があります。指示に従ってください。



注意 – 表面は高温です。触れないでください。火傷をする危険性があります。



警告 – 高電圧です。感電や怪我を防ぐため、説明に従ってください。

装置の改造

装置に対して機械的または電氣的な改造をしないでください。Sun Microsystems, Inc. は、改造されたサンの製品に対して一切の責任を負いません。

サン製品の設置場所



注意 – 装置が過熱すると、信頼性が損なわれます。装置の開口部を塞いだり覆ったりしないでください。また、装置の近くに放熱機器を置かないでください。

SELV 対応

I/O 接続の安全状態は、SELV (Safety Extra Low Voltage) の条件を満たしています。

電源コードの接続



警告 – サンの製品は、アースされた中性線を持つ単相電力系を使用する設計になっています。それ以外の電源にサンの製品を接続すると、感電や故障の原因になります。建物に供給されている電力の種類がわからない場合は、施設の管理者または有資格の技術者に問い合わせてください。



警告 – 家庭用延長コードをサンの製品に接続しないでください。必ずしもすべての電源コードの定格電流が同じではありません。家庭用の延長コードには過負荷保護がないため、コンピュータ用に使用することはできません。



警告 - このサンの製品は、アース付き (3 線式) の電源コードを使用しています。アースしたコンセントに電源コードを接続してください。この警告を守らない場合は、感電する危険性があります。



警告 - この製品の電源を完全に切るには、すべての電源スイッチをオフにしてください。

次の警告は、スタンバイ電源スイッチのある装置にのみ適用されます。



警告 - この製品は、スタンバイ形式の電源スイッチのみを採用しています。システムへの電源供給を完全に切断するには、電源プラグを抜いてください。設置場所の近くのアースされた電源コンセントに電源プラグを差し込んでください。シャーシから電源装置が取り外された状態で、電源コードを接続しないでください。

リチウム電池



注意 - サンの CPU ボード上にあるリアルタイムクロック (SGS No. MK48T59Y、MK48T594-70PCIU、MK48TXXB-XX、MK48T18-XXXPCZ、M48T59W-XXXPCZ、MK48T08) には、リチウム電池が埋め込まれています。ユーザー自身でこのリチウム電池を交換することはできません。誤った処置をすると爆発する危険性があります。電池を火の中に投入しないでください。また、リチウム電池を分解したり充電したりしないでください。

システム本体のカバー

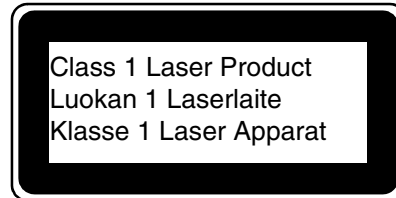
カード、メモリー、または内部記憶装置を追加するためには、サンのシステム本体のカバーを取り外す必要があります。作業後は、必ずカバーをもとどおりに取り付けてから電源を入れてください。



注意 - カバーを閉じてから電源を入れてください。サンの製品をカバーを開けたまま使用するのは危険です。傷害や故障の原因になります。

レーザー規定適合について

サンの製品は、レーザー規定クラス 1 に準拠するレーザー技術を使用しています。



DVD-ROM



注意 - 本書で記載された以外の操作を行なった場合、有害な電波や光線が漏れる可能性があります。